

ならやまトーク・投句 (5月編)

葉桜や聖火ランナーゆるゆると 坂東久平

(佐保川堤はもう葉桜。6人に守られた聖火が、ゆっくり走り行くと)

花会式高野の路を聖火出づ

阿部和生

(盧舎那仏を祀る金峯仙寺の前から 聖火ランナーも走り出た)

薬師寺の塔ゆらゆらと花筏

坂東久平

(薬師寺の塔は大池からの眺めが良い。桜の花筏と塔が水面にゆれて)

老人会語り歩くや花の下

阿部和生

(「ゴザ敷いて一杯」は憚られると、桜の下で新年度の計画など語る)

彼岸をば待たず逝きしと友の報

笠井文夫

(花の便りに混じって友の訃報。会者定離とはいうものの、只々合掌)

ワクチンの異変種と競う花吹雪

岡田安弘

(ワクチンで展望が開けたと思うと異変種出現、出口が見えない闘い)

孫達しどうしているか栞若葉

岡田安弘

(4歳になる孫と1年以上も会えていない。お姉さんになっただろうな)

畑打つや土も老夫も深呼吸

藤原 勲

(二陽来復、後期高齢者といわれても、野良では現役。さあ始めるか)

春眠や目覚まし三つ五分ごと

藤原 勲

(よく寝られるのは体が若い証拠。羨ましい限りです・・・とは誰?)

春の声受話器飛び出し孫元氣

八木 順一

(飛び出す声! 思わず元氣な声で返事しているご当人。同感・同感)

幼子のリード背中に歩く春

八木 順一

(よちよち歩きの幼児、外では目が離せない。いっそリードをつけてと)

凍り滝碧色透る春気配

中井 弘

(氷瀑が陽光に溶けはじめた。碧く透き通って美しい。高山にも春だ)

花に舞う踊子草や佐保堤

古川 祐司

(桜が咲く佐保川堤には、決まってオドリコソウの群落が舞姿を見せる)

春耕にまろび出でたり土竜の仔

古川 祐司

(堆肥の塚を掘る。春眠を破られ土竜の仔が5匹も。ゴメンナサイ)

ダイサギの踏み惑ひたり葦の角

古川 祐司

(西池のダイサギが抜き足差し足。葦の尖りに足の置き場に迷う風情も)